

平成 29 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

日限山地域ケアプラザ

■ 事業報告

1 全事業共通

(1) 地域の現状と課題について

- ◆ひぎり地区の住民は3,765世帯、8,907名が居住し、高齢化率32.8%。
 - ・4丁目は高齢化率42%を超える(29年住民基本台帳)が、一人暮らし高齢者107世帯、後期高齢者数370人。対し1丁目は高齢化率26%だが1人暮らし高齢者155世帯、後期高齢者数526人と突出している特徴がある。(平成27年10月国勢調査)
 - ・街並みは80坪台の戸建てが多く居住50年程度の地区である。表面化しにくいが無職で40~50代の子供と2人及び3人で暮らしている家庭が目立つ。
 - ・自治会毎での団結心は強く、福祉や防災については独自の工夫と組織を立上げ各自治会館、日限山小学校コミュニティーハウスを利用した高齢者・子育て・障害児向けの活動を行う、更に連合自治会を中心として協議体を形成、「健康づくり」「障がい児者」「高齢者」「子ども青少年」「活性化」と5つの部会を立上げ企画運営会議を毎月重ねる。
 - ・防災等に関しては自治会同士の繋がりが小学校拠点と中学校拠点で分かれ、協働での訓練は行われていない。
- ◆丸山台自治会の住民は、3,147世帯、7,136名(29年住民基本台帳)が居住し、高齢化率24.0%。3丁目は高齢化率が34.0%に対し、一人暮らし高齢者は2丁目が77世帯と一番多い(平成27年10月国勢調査)。
 - ・中心に市営地下鉄駅と商店街を持つ。夏祭りではサッカー、野球等のクラブチームが模擬店を開催、また商店会が歩行者天国を開催、高齢者から子供まで地域行事に参加する活発な面がある。自治会館を二館所有しサロン等活動も3か所で行われている。駅前マンションでは震災以降、サロンを立ち上げ、多い時には月3度開催し、また終の棲家となる様、管理組合と話し合いを重ねている。
 - ・両地区とも新しい担い手が見つからない課題がある。

(2) 相談(高齢者・こども・障害者分野等の情報提供)

- ・立ち上げた事業の内容・運営方法・参加者の見直しと発展を図りました。
- ① ふらり~カフェ(認知症、子育て親子、障がい者、高齢者誰もが参加できるカフェ)
 - 近隣の高齢者施設から定期的な参加があり交流の居場所として定着しました。
 - 子育て親子の参加が低迷。子育て広場でアンケートを実施すると翌月の参加は増えるがまた減少傾向。対策を検討しイベントを実施した所、子育て親子4組を含む32名の参加がありました。
- ② あい碁で将(囲碁・将棋の地域活動交流協働事業)運営を貸館利用団体ボランティアに依頼、毎回20名を超える参加者があり男性の居場所になっています。
- ③ 極みの会(男性自主グループ活動)
 - 毎月定例会が開催され、男の極みヨガ、ウォーキング、ふらり~カフェでのケーキ作り、介護予防事業でのカレー作り、ケアプラザフェスティバルでの喫茶出展、パソコン何でも無料相談など、多彩な展開が図られました。

④ 認知症家族のつどい

介護経験OBにボランティア参加を呼びかけ、経験者からの介護アドバイスにより共感が深まった。区高齢担当から障害者控除の説明、歯科衛生士から認知症の方の口腔ケアの講義を行い有益な情報提供を図りました。6～10名の参加。

- ・ひざり地区第三期地福計画を推進。
 - * (4) 地域福祉保健計画のネットワークの構築を参照。
- ・高齢者・障害・こども等幅広い分野の相談に情報提供できるよう各種ガイドブックを整備し対応しました。
- ・地域活動及びケアプラザ貸館団体情報誌「参加しませんか」を4月に更新。ケアプラザ内掲示物の配架ラックの増設を行い、貸館団体の参加者募集チラシより多く情報提供出来るようにしました。
- ・ケアプラザが相談場所であることを周知するため、外掲示板の活用、サロン、地域の各種会議への参加、行事、商店会等に積極的に出向きPRしました。
- ・館内に季節行事に合わせた装飾、使いやすい図書コーナー情報ラウンジなど来館しやすい雰囲気作りに努め、世代を問わず相談できる環境を整備しました。
- ・来館者と随時の挨拶及び貸館点検等でコミュニケーションを図り、ウォーキングポイント等での来館者にPRし相談に応じるきっかけを作りました。
- ・包括が受けた高齢者相談は相談票を作成し、包括・コーディネーターで回覧し地域課題を把握しました。
- ・包括が高齢者相談から把握した障がいや子育ての支援が必要な方は速やかに関係機関と連携しました。
- ・相談の傾向は統計システムを使い把握やニーズ分析を継続しました。

(3) 各事業の連携

- ・貸館利用者からの相談・地域の困りごとなどの情報は両部門が情報共有し各部門の専門性を活かした支援策を検討しました。
- ・包括が受けた高齢者相談は相談票を作成し、両部門で回覧し地域課題を把握しました。
- ・5職種で共有した事柄やノウハウを、月1回所内会議で情報共有、個々の専門分野で活用し地域や事業検討を実施した。日常的な情報共有は随時小会議を開催しました。
- ・地域サロンへ両部門が輪番で参加し課題の抽出及び支援を実施しました。
- ・両部門で、障がい児余暇活動支援事業「ドルフィン」「ケアプラザ the フェスティバル」「ふらり～カフェ」等協力し取り組みました。

(4) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- ・「第10回日本薬剤師学会学術大会」(7月にパシフィコ横浜会議センターで開催)で職員がパネラーとして参加し発表しました。
- ・生活支援コーディネーターが5月に退職したが、法人の内部異動で1か月後に補填することができました。
- ・各種研修へ参加し、その都度研修内容をフィードバックして共有する事ができた。
- ・ケアプラザ会議(所長+5職種+居介支)を毎月開催し情報共有した。また、必要時にはその都度報告会を設けました。
- ・災害時及び救急対応時の役割を明確にし防災訓練にも反映した。(年2回実施)
- ・貸館団体へのアンケートを受けて、災害時の対応について各団体へ徹底を図るとともに、利用頻度の高い団体には、施設利用時に参加者に直接説明しました。
- ・非常勤職員向けに定期的に内部研修を行いました。(リスクマネジメント、マナー、感染症対策など)

(5) 地域福祉保健のネットワーク構築

・ひざり地区地域福祉保健計画の推進

5 部会に対し、各部会にケアプラザ職員が事務局として配置、運営支援を行いました。

- ①福祉活性化部会：コミュニティーバス実現に向けた勉強会を実施、同時に高齢者の為の買物ツアーを企画、高齢者部会と協働での開催を行いました。
- ②高齢者部会：地域サロン体験とヒアリングを行い、9つの「居場所交流会」開催。それに合わせて「居場所マップ」を作成3月に全戸配布。高島屋ゆめツアーを開催支援を行いました。
- ③健康づくり部会：4つの各丁ごとにラジオ体操開始。また、年3回地域イベントに合わせて「健康チェック会」を開催。担当保健師による開催支援を行いました。
- ④障がい児者部会：近隣の障害者施設9箇所を視察。地域へ活動報告を兼ね施設紹介をする障害部会ニュースを作製。ケアプラザ the フェスティバルで障害者施設の製品を委託販売し地域に部会を周知しました。
- ⑤子ども青少年部会：ひざり地区を拠点とする子ども青少年の団体の情報を収集し、拠点マップを作成。地域フォーラムとして、親子科学実験教室の開催。クリスマス会の開催しました。

・地域の担当者は

連合自治会、単位自治会、地区社会福祉協議会、民生児童委員、老人クラブ、保健活動推進員、環境事業推進員、スポーツ推進員、NPO、任意団体等が参加する。また各部会担当者の情報共有の為、正副部会長会議。そして、明日を考える会の開催支援を行いました。

・ひざり地区支援チーム会議を隔月で開催、区役所、区社会福祉協議会等と情報共有しました。

・永野地区エリア支援チーム会議から全体会議への連携協力を行いました。

・丸山台が地域福祉保健計画で上げた障がい児者協働の中学校拠点防災訓練を開催しました。

・丸山台長寿会が行うサロンのレクリエーション支援を地域包括・生活支援コーディネーターでおこないました。

・各单位自治会定例会へ参加し、自治会独自の取組を次年度協議体計画へと発展させました。

・包括保健師が保健活動推進員定例会へ参加しました。

・地域ケア会議に、単位自治会長が参加、地域が要支援者の生きがいの一端を担っていることを見て頂きました。

・「日限山歩こうクラブ」が平日19時・20時とケアプラザを出発終着点として見回りをして頂きました。

・ひざり地区社会福祉協議会主催の福祉講座の支援を行いました。(区役所や講師の連絡調整、資料、アンケート作成等)

(6) 区行政との協働

・個別相談業務として区の高齢障害支援課と包括職員で毎月カンファレンスを実施し、情報共有、検討、役割分担を図りました。内容に応じて介護保険サービス事業者、民生委員等地域関係者を招き、課題解決に向けた討議を図りました。また区の高齢障害支援担当とは、必要に応じ電話で情報共有し、同行訪問等を行いました。

・地域づくりの第3期ひざり地区地域福祉保健計画には支援チーム会議をいりの実行実現に向けて港南区役所の福祉保健課から高齢障害支援課・子ども家庭支援課まで横の繋がりを持って連携協力体制を持ちました。今後も目的役割を共有しながら区行政と協働を積極的に行いました。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

- ・さわやか港南と共催で「認知症理解と援助」講座の開催。62名の参加がありました。
- ・ケアプラザ祭り「ケアプラザ the フェスティバル in 日限山」を開催し、ひざり地区社協・丸山台自治会・貸館団体はじめボランティア 296名・参加者約 500名。駐車場や2F ベランダ、隣の日限山自治会館をお借りし催しを行い、イベントの可能性を図ることが出来ました。
- ・障がい児の夏休み余暇事業「ドルフィン」の開催。ケアプラザの調理室と多目的ルームを使用し、普段貸館を利用しない参加者や保護者等の方に調理室のPRができました。ボランティア含め延べ 324名の参加がありました。
- ・小中学生対象「宿題ルーム」を小学校校長や子ども達のニーズにより、今年度から開催頻度を週2回から週3回へ増やし開催を行いました。
- ・生活整備体制事業と共催で、高齢者及び子どもの居場所として囲碁将棋サロン「あい碁で将！」の開催を行いました。
- ・地域包括支援センター・生活整備体制事業と共催で「ふらり～カフェ」の開催を行いました。
- ・小学生対象としての夏休み工作講座の開催を行いました。
- ・日中就労している女性をターゲットとした「女性のよるヨガ」を夜間帯に開催し、定員 20名に対し2倍程の応募がありました。現在は「星ヨガ」として自主サークルを立ち上げ継続して活動を行っています。
- ・生活整備体制事業と共催で、定年後の男性をターゲットとした「男性限定 極みヨガ」を開催。現在「極みヨガ」として自主サークルを立ち上げ継続して活動を行っています。
- ・高齢者対象の「パソコン何でも無料相談」を地域の方が持込企画としてケアプラザ後援のもと開催。月平均6名の参加がありました。運営として現在5名が活動しています。
- ・港南区社会福祉協議会と区内ケアプラザ・区役所と共催で「男のセカンドライフ大学校」の開催を行いました。
- ・親子向けの「親子ハロウィンパン教室」の開催を行いました。
- ・子育てクラブぐんぐん主催、ケアプラザ後援で開催中の未就園児と母親を対象とした「ぐんぐんひろば」の定期開催の継続支援を行っています。
- ・未就園児の父親対象とした「Papaco スクール」の開催。3回連続講座を行い、父親同士の交流を図ることが出来ました。
- ・ひざり連合主催ケアプラザ後援「クリスマス会」の開催を行いました。
- ・ひざり地区地域福祉保健計画 子ども青少年部会による、「親子科学実験教室」の開催支援を行いました。
- ・近隣施設との共催にて「お餅つき大会」の開催を行いました。
- ・男性のボランティアグループ極みの会協力のもと、地域包括支援センターと共催「Go!Go!お花見 walking」開催を行いました。

【今年度評価の理由】

- ・幅広い世代に向けての事業が出来ました。
- ・女性のよるヨガを開催することで仕事をしている女性のニーズ把握が出来ました。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・「ふらり～カフェ」のイベント枠での発表の場の継続を行った。平日お昼開催のため、夏休みには普段参加出来ない小学生の発表も出来ました。
- ・ケアプラザ the フェスティバルでの展示やステージでの発表を行いました。
- ・廊下ギャラリーでの作品展示を継続して行いました。
- ・施設内掲示板及びバス停前の立地を利用し掲示板での情報提供を行いました。

- ・バス通り沿いのため2階ベランダにケアプラザの看板とイベント開催のポスターを掲示し告知を行いました。
- ・タネットにて講座などを公開し情報提供を行いました。
- ・貸館空き状況リストを定期的に更新し活用を促しました。
- ・ケアプラザ祭りで多くの貸館団体や地域のグループへ発表の場の提供を行いました。
- ・「女性のよるヨガ」を開催し、「星ヨガ」として自主サークルを立ち上げ、夜間に継続して活動し、夜間の稼働に繋がられました。
- ・親子向けのパン教室を開催し、親向けに調理室の利用について情報提供ができました。
- ・ふらり～カフェにて男性ボランティアによるスイーツ作りと提供を行い、料理に意欲関心を持ち今後調理室での定期利用を促せました。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

- ・地域のニーズにより、ボランティア養成講座として、「人を呼び込むためのチラシ作り」の開催を行いました。
- ・よこはまシニアボランティアポイント登録研修会の開催を行いました。
- ・ケアプラザ祭りにて貸館団体や個人などへ参加を呼びかけ、ボランティア 296 名の参加がありました。
- ・地域包括支援センターと共催で、ボランティアグループ 極みの会へ「Go!Go!お花見 walking」の企画から実行を促し、活動の幅を広げられました。
- ・ふらり～カフェにて男性ボランティアによるスイーツ作りと提供を行い、活動の場の提供を行いました。
- ・地区社会福祉協議会のネットワーク会議へ参加し情報収集及び提供を行いました。
- ・近隣施設へのボランティアコーディネートを行いました。
- ・パソコン何でも無料相談では、開催するにあたりボランティア募集を行い新しいボランティアの発掘を行いました。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ・ケアプラザ内掲示物の配架ラックの増設を行い、多くの情報を提供出来るように行いました。
- ・貸館団体用の掲示板を定期的に入れ替え、多くの団体がPRを行えるよにしました。
- ・ケアプラザ広報誌を隔月で発行し、情報提供を行いました。
- ・広報こうなんやタウンニュースなどの広報誌にケアプラザの情報掲載を行いました。
- ・タネットへ定期的に講座の情報やレポートの掲載を行いました。
- ・ひぎり地区社協の広報誌（ひぎり地区全行配布）と連携し、ケアプラザの内容や講座等を掲載しました。
- ・施設マニュアル（利用方法やケアプラザの設置意義等）を利用者向けへ作成中。
- ・ひぎり地区地域福祉保健計画で、ケアプラザと協働し、ひぎり地区を拠点とする子ども青少年の団体の情報を収集し、拠点マップを作成しました。
- ・福祉保健活動団体向けの交流会を行いました。
- ・生活整備体制事業と連携し、単会の定例会へ参加し情報収集及び情報提供を行いました。
- ・地域サロンへ輪番で参加し、地域の情報収集を行いました。
- ・日限山自治会・丸山台自治会納涼祭にてブース出店を行い、福祉クイズを行うと同時にケアプラザの周知活動を行いました。納涼祭きっかけでケアプラザへの子どもの出入りが増加し、それにより親への情報提供ルートが増えました。
- ・地区内の小中学校へ定期的に伺い、情報収集を行いました。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

- ・ケアプラザ主催で行う「ふらり～カフェ」を5職種協働で毎月開催しました。未就園児親子から高齢者・要支援者・近隣高齢者施設・障がいのある方の利用がありました。その為、専門職種がいるサロンと位置付け、またボランティアの活動場所としても役割を持たせています。
- ・あい碁で将！（囲碁・将棋の地域活動交流協働事業）運営を貸館利用団体ボランティアに依頼、毎回20名を超える参加者があります。
- ・地域福祉保健計画部会の会議を協議体と位置付け毎月重ねることで、地域主体での、高島屋ゆめツアー、居場所交流会、ラジオ体操、健康チェック会を実施する事が出来ました。
- ・居場所マップを作成、ひざり地区広報誌と共に3月に全戸配布を行いました。
- ・港南区社会福祉協議会、港南区役所、地域活動交流協働でのセカンドライフ大学校にて「個人から地域支援まで」として地域包括ケアシステムと介護予防・支え合い、生活支援コーディネーターの役割について周知を行いました。
- ・地域ケア会議にて、「地域包括ケアシステムと地域ケア会議」の関係について説明を行いました。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- ・地域活動及びケアプラザ貸館団体情報誌（趣味活動を含む）「参加しませんか」を4月に更新しました。
- ・地域主導で行う会議（協議体）から資源である地域サロンの体験を皆で行い、ニーズや課題のヒアリングを行いました。その後、9つの居場所交流会を行い、情報共有や課題克服、横の繋がりを持たせ居場所を行う意義や価値の再認識を持って頂くことが出来ました。

(3) 連携・協議の場

- ・協議体について、連合自治会、単位自治会、地区社会福祉協議会、民生児童委員、老人クラブ、保健活動推進員、スポーツ推進員、NPO等が参加する地域福祉保健計画会議の場にて第1層コーディネーター等の協力の元ご理解を頂くことが出来ました。
- ・地域が主催する地域福祉保健計画実行の為の「協議体」を福祉活性化部会・高齢者部会・健康づくり部会として毎月開催する。その成果として、各自治会でのラジオ体操・健康チェック会の実施。地域サロン居場所交流会の実施。高島屋買物ツアー実施へと発展させることが出来ました。また、それらを共有する為の協議体：正副部会長会議を開催しました。
- ・次世代の事を検討する「ひざり地区明日を考える会」の開催支援を行いました。
- ・助け合いネットワーク20周年祭、20周年誌作成支援を行いました。
- ・自治会定例会に参加。班長が自分の足で見た班の様子を報告を行う場面を拝見する。（空家・一人暮らし・ゴミ問題・孤立など）班長の意識改革を促す取組をされました。この取り組みを次年度の協議体テーマに取り入れる。
- ・地域包括支援が行う、地域ケア会議にて地域包括ケアシステムと地域の関わりについて生活支援コーディネーターとしての立場からの説明を行いました。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- ・第1層生活支援コーディネーターが行う区レベル協議体の情報を共有、当該エリアにても同様の課題が上がり外出支援、百貨店買物ツアーを行う。その体験を元に地域代表者を区レベル協議体に推薦を行い協力をする。
- ・介護予防・生活支援サービス補助事業への取組支援を第1層コーディネーターと区職員とで行う。港南区ケアマネ連絡会への周知協力。連合自治会長・自治会長・地区社会福祉協議会・民生児童員等へ紹介。その後、掲示板掲載、回覧周知してもらう。ケアプラ広報誌掲載を行う。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

- ・地域活動及びケアプラザ貸館団体情報誌「参加しませんか」を4月に更新。ケアプラザ内掲示物の配架ラックの増設を行い、貸館団体の参加者募集チラシより多く情報提供出来るようにした。
- ・ひぎり地区、永野地区の第3期地福計画の推進を住民主体で進め、地域住民に成果物として部会毎にマップや広報を作製、高齢者部会でサロンマップを作製した。
- ・丸山台第1自治会館建替えの間、シルバークラブ、自治会定例会でケアプラザ貸館を使用している。身近で声を掛けやすい関係性が作られ、貸館利用時に相談を受け支援した。
- ・丸山台（日限山含む）の民生委員児童委員を対象とした民生とケアマネジャーの懇談会を開催した。
- ・地域の自治会夏祭りにブース出展し、クイズ等のイベントにより子供から子育て世代・高齢者の幅広い世代へ地域包括支援センター周知を含めた、福祉の啓蒙活動を行った。
- ・地区社会福祉協議会理事を引き続き受け、地域会議に参加し情報収集とニーズの把握に努めた。
- ・地域の関係機関と定例会等を通じ情報収集とニーズの把握に努め、ネットワークを強固にした。
 - ・民生委員児童委員協議会定例会（ひぎり・永野）
 - ・保健活動推進員定例会（ひぎり・永野）
 - ・ひぎり地区福祉講座検討会
 - ・第3期地福計画推進会議
 - ・シルバークラブ、サロン等
- ・支援チームの情報共有、ネットワーク強固、課題抽出・解決のために、定期的または随時、区役所、区社会福祉協議会と支援チーム会議を開催した。
- ・支援チーム会議は、内容に応じ地域のキーパーソンを招き、協働で地域の課題について話し合い、ネットワークの強固を図った。
- ・カンファレンスは、内容に応じて介護保険サービス事業者、民生委員等地域関係者を招き、課題解決に向けた討議を図った。
- ・地域の見守り支援では、認知症夫婦と障害の子世帯を見守るネットワークを地域住民、関係機関と構築し実働している。
- ・地域づくりの効果として、地域ケア会議で「地域活動が個人の生きがいになっていること、継続するための手段として介護保険を利用していること」を理解してもらい、一層の意欲が高まるようアプローチし確認がされた。

② 実態把握

- ・地域ケア会議で地域活動に参加しない層のニーズを検討した結果、若い世代が参加したい講座があっても年齢が対象外であることが把握された。若い世代から参加できる講座を開催することで顔見知りになり地域活動につながる。
- ・ひざり地区福祉保健計画活性部会で行われたアンケートを、住民と協働で地域ニーズを分析した。
- ・ケアプラザで開催する各種事業のアンケート結果や声を地域住民にフィードバックすることで住民への理解を深め、さらに事業展開を図り圏域のニーズが図られPDCA サイクルを作った。結果として要介護認定を受けている高齢者からショッピングを楽しみたいというニーズが抽出され、ひざり夢ツアー in 高島屋を実施。参加者5名ボランティア10名支援者6名で開催、二部では食事を摂りながらそれぞれの感謝の想いを共有した。
- ・各種統計資料から圏域の情報を収集するほか、日頃の相談業務を統計システムで整理し個別ニーズ、圏域のニーズを数値化した結果、相談内容は介護保険に次いで生活課題が多く、制度では対応できず、地域活動で対応する必要性が分析され、運営協議会で地域住民に周知した。
- ・地域住民やケアマネジャー等にインフォーマルサービスの内容や参加の方法等を含め、ニーズに応じた情報提供を行った。

③ 総合相談支援

- ・「ふらり～カフェ」は、内容・ボランティア発掘、時間配分など見直しを図り持続可能な運営を目指した。
- ・「認知症家族のつどい」は先輩介護者の協力を得て、介護アドバイスによる共感が深まり、専門職からのアドバイスではサービス利用の受け入れに難色だった方も利用に繋がった。区高齢担当から障害者控除の説明、歯科衛生士から認知症の方の口腔ケアの講義を行ない有益な情報提供を図った。6～10名の参加。
- ・丸山台第1自治会館建替えの間、シルバークラブ、自治会定例会でケアプラザ貸館を使用している。身近で声を掛けやすい関係性が形成され、貸館利用時に相談があり支援を行った。
- ・「極みの会」は、毎月定例会が開催され、男の極みヨガ、ウォーキング、ふらり～カフェでのケーキ作り、介護予防事業でのカレー作り、ケアプラザフェスティバルでの喫茶出展、パソコン何でも無料相談など、多彩な展開が図られた。
- ・初回相談は、相談票を作成、包括・コーディネーターで回覧し地域課題を把握。相談内容の分析から、事業の立ち上げを検討し、今年度も権利擁護の「わたしの人生計画」講座を開催。
- ・包括内は口頭でも引継ぎ支援の方向性について検討した。必要時は訪問し、専門機関やフォーマル・インフォーマルの情報提供、またサービスCに繋ぎエンパワメントが引き出されるよう働きかけた。
- ・相談対応は、平易な言葉づかいで丁寧な伝え方を心掛け、相談者の真のニーズをアセスメントし、エンパワメントが引き出されるよう支援した。
- ・定期訪問は対象者の個別の状況を勘案し世帯状況や心身状況を踏まえ、計画的かつ継続的に支援した。
- ・サービスに繋がらず孤立化等で見守りが長期に及んでいるケースは、カンファレンスなどを通じた定期的な関わりの見直しや、アプローチについて検討し解決された。
- ・介護認定をしていず早急な対応を要するケースは、区役所高齢・障害支援課と連携しながら先行でサービス調整等を行い、担当ケアマネジャーにスムーズに繋がるよう支援した。
- ・日頃の相談を整理・分析し、地域課題に繋がる相談内容については、関係機関、地域キーパーソン等を交えて、地域ケア会議等を開催した。
- ・認知症の方の相談対応は、高齢障害支援課、はいかい認知症高齢者等 SOS ネットワ

ーク、警察等とも連携を図り、相談者本人・家族はもとより近隣者の不安と安全を守るよう連絡調整した。

- ・妄想があり家族での対応が困難な方は、区高齢支援課及び認知症初期支援チームと連携した
- ・精神障害があり収支バランスに課題がある方は、関係機関に加えて生活困窮者自立支援機関と連携した。

(2) 権利擁護業務

① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- ・郵便局と連携し対応した。
- ・エリアの駐在所、近隣住民とも関係性を強固し、消費者被害の防止を図った。
- ・成年後見制度、エンディングノート等について講座「わたしの人生計画」をシリーズで開催し、地域住民等に普及啓発を図った。
- ・老人会、各種サロンなどに出前講座で普及啓発や注意喚起を行なった。
- ・個別支援では、消費者被害に会い金銭管理と身上監護が必要になっていた認知症夫婦と障がいの子のいる世帯に、区役所、ケアマネジャーと連携し成年後見制度の申立支援等を行った。後見人受任後も、日常生活の身上監護について関係機関と連携し支援を継続中。

② 高齢者虐待への対応

- ・要介護の親と未就労の子世帯へアプローチし声掛けをするとケアプラザに立ち寄ってもらえるようになった。
- ・介護保険事業者と民生委員の懇談会を、高齢者虐待をテーマに開催し、グループワークを通して虐待リスクや対応を学び、地域住民の通報義務や関係機関の役割を周知した。
- ・虐待や虐待の疑いの相談・通報は民生委員や区高齢障害支援課と連携し速やかに対応した。
- ・65歳未満のセルフネグレクトに近い障がい者に対し、区高齢障害支援課、機関型相談支援センター、生活支援課困窮事業と連携し支援した。
- ・認知症家族のつどいを毎月開催し、ピアカウンセリングにより虐待の抑止を図った。先輩ボランティア介護者の投入によりさらに内容の充実を図った。
- ・ふらり～カフェが、孤立しやすい認知症家族の居場所となるよう内容を再考し継続した。
- ・区内社会福祉分科会で引き続き区内ケアマネ連絡会他、区内介護事業所対象に虐待防止研修を行った。

③ 認知症

- ・認知症サポーター養成講座は、京急百貨店上大岡店の職員向けに実施しました。参加者アンケートから、正しい知識が得られたので対応できると思うと高評価でした。
日限山中学校3年生対象に認知症サポーター養成講座を実施しました。
- ・ふらり～カフェは、内容・ボランティア発掘など見直し、持続可能な運営を目指しました。
- ・「認知症家族のつどい」は先輩介護者の協力を得て会の進め方を検討しました。
- ・スリーA（認知症予防）を活動主体としている「元気づくりステーションゆらり」の支援者向けの研修へ、地域の活動グループからの受講を受け入れ、認知症や認知症予防についての理解や取り組みが拡大されるよう働きかけました。
- ・認知症予防講座をわたしの人生計画の一枠で開催のほか、月に2回開催している「元気づくりステーションゆらり」でスリーAを実施しました。

- ・ はいかい認知症高齢者 SOS ネットワーク・ひまわりホルダーの周知と活用をし、介護相談に繋がりました。
- ・ 若年性認知症のつどいの協働開催を年 3 回実施しました。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

①地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・ ケアマネジャーの地域との関わりを意識を強め、「民生児童委員・ケアマネジャー連絡票」の活用を勧めた。
- ・ ケアプラザで行われる事業に、ケアマネジャーに参加を促し、地域住民のニーズの把握や、インフォーマルサービスへの周知に努めた。
- ・ ケアマネジャーと民生児童委員の懇談会を実施。

②医療・介護の連携推進支援

- ・ 「医福ネット港南」医師の代表世話人を筆頭に区役所、地域包括センター、訪問リハビリ、訪問看護、訪問介護、ケアマネジャーで世話人会を構成し、福祉職と医療職の交流と学びの場の提供を 2 回行った。各回 100 人近い参加で、講座・グループワークを通じて、医療介護、専門職間の交流の機会となった。
- ・ 地域ケア会議では、作業療法士が参加し、当事者の発表後に総評を行う事で、医療連携推進を支援した。また「在宅医療相談室」から相談員が参加し、地域住民に対して説明を行った。
- ・ 新任ケアマネジャー研修では「在宅医療相談室」についての講座を通じて、医療機関との連携について学ぶ機会をつくった。
- ・ 日限山地域ケアプラザ協力医と近隣ケアマネジャーの相談の場を設け、連携の取り易い、顔の見える関係作りを行った。
- ・ エリア内の医療機関、薬局と連携を深めた。

③ケアマネジャー支援

- ・ 担当地域内の事業所訪問を定期的に行い、その場でケアマネジャーに声をかけ、関係の向上と抱えている事例相談等に対応し、内容によっては区役所高齢・障害支援課地区担当者とケースカンファレンスに繋げた。
- ・ ケアマネジメント新任研修会後期を通じて、法令や解釈、通知等を読み解く学び、民生委員の役割や連携の取り方、インテーク面接技法、アセスメント思考プロセスからの相談援助業務、事例検討を行った。サービス担当者会議の講座では、実際にケアマネジャーにロールプレイで役割を演じることによって、参加者の体験を通じ、実践の場に活かせるような講座を行った。社会資源の学びの場となる様に、区社協の役割、在宅医療相談室の役割を学んだ。
- ・ ケアマネジメント新任研修会を通じて、新人ケアマネ学習会の立ち上げと、会の維持向上を高年齢障害支援課と協働で行った。
- ・ 「港南区ケアマネジメント講座」の実施。
- ・ 「港南区ケアマネ連絡会」の支援を行った。
- ・ 「民生児童委員とケアマネジャー懇談会」を開催し、ケアマネジャーに地域力活用の視点と大切さを伝える。
- ・ ケアマネサロンでは、毎月少人数で社協、地域包括ケア病床のMSWや、課題整理総括表についての学び、エンディングノートなどの民間の講師を呼び講座を設けるなど、現状のニーズに即したサロンで講師に直に聞ける場でケアマネジャーへ情報提供を行った。また、「在宅医療相談室」の周知や連携推進の機会を提供した。
- ・ 近隣事務所の事例検討会に参加、ケアマネジャーのスキルアップを支援した。
- ・ 支援困難ケースは同行訪問し、区役所との連携を図り、ケアマネジャーの支援を行った。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- ・ 地域ケア会議を1回実施し、地域で暮らす、当事者に参加して貰うとともに、地域住民、医療関係者、区役所、社協、ケアマネジャー等の多職種が参加、議論の場を設け、多職種協働による地域包括ネットワークを構築する場をつくった。介護保険を卒業、もしくは利用しながら地域活動を続け、生きがいにつながっている当事者が参加した会議で、地域活動につながりにくい男性高齢者についてグループで話し合い、どんな活動なら参加しやすいか、居場所の提案など、具体的に話し合った。
- ・ 「多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成研修」への参加により、医療職と介護職の連携を図った。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- ・ ケアマネ連絡会にて、介護予防支援従事者研修を実施しました。
- ・ 支援計画へ地域のインフォーマルサービスを組み込めるよう、活動情報誌についての説明や地域のサロン情報等をケアマネジャーへ配布し情報提供を行いました。
- ・ 対象者の生活や、個々の目的に応じた目標設定を行うため、本人や家族等からの聞き取りを十分に行い、生活状況・心身状態を含め総合的なアセスメントを実施しました。
- ・ 委託しているケースについては、ケアマネジャーと密に連携を取ると共に、支援困難ケースについては、必要に応じて高齢障害支援課や関係機関と様々な視点で検討し支援を行いました。
- ・ 事業対象者については、定期的な地域での活動として、元気づくりステーションへの参加を促しました。
- ・ 担当エリアの事業所のケアマネジャーにも参加してもらい、目的志向型の介護予防ケアマネジメントについて、リハビリ専門職等及び要支援・介護保険利用を終了した当事者を含めた地域ケア会議を実施しました。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

- ・ 元気づくりステーション
 - ①アクティブシニア
自治会館の建て替えに伴い今年度のみケアプラザで活動を行ったことをきっかけに、メンバーの役割分担などを見直し、準備や片づけなどの運営が更に自主的に行えるよう支援しました。
自立～要介護の参加者が助けあいながらそれぞれの身体状況に応じた活動が出来ており、支え合いの中で継続しています。
 - ②元気づくりステーション ゆらり
今年度から月に2回の開催となり、11月に運動会を開催するなど活発に活動しています。
ボランティアの意識が大変高く、課題を感じる事があればその都度十分に話し合いを持ったり、自ら様々な研修に参加して活動に活かすなど、より良い会になるための努力を継続しています。
認知症予防の活動は勿論のこと、介護保険を申請した中等度以上の認知症参加者も受け入れ、サービス利用までのステップとしてや、家族と一緒に参加して楽しめる場としても役割を果たしています。
さらに、地域の別のグループを支援するボランティアを行うなど、幅広く活動を行っています。

③ルンルン体操

昨年度の立ち上げから1ヶ月で定員に達し、25名で準備から片づけ、受付・会計・血圧測定など役割を分担して全員で行っています。

新規の参加者を受け付けられない状況が続いたためメンバーと話し合いを持った結果、12月から2部制に活動を拡大して活動を始めました。

定期的にケアプラザの掃除ボランティアも行っています。

④元気づくりステーション交流会

ゲーム等を通して各グループが互いのメンバーとの交流し親睦を深めながら情報交換を行いました。

また、ケアプラザの壁を活用して、元気づくりステーションの掲示を行い活動の周知をしました。

⑤地域ケア会議

目的志向型の介護予防ケアマネジメントに向けた地域ケア会議にて、元気づくりステーションの活動や地域で担う役割について理解してもらうことができました。

- ・ 介護予防普及強化事業では、前期と後期で講座を開催し、株式会社キューピー・株式会社明治から講師を招いたり、区役所 健康づくり係や、保健活動推進員・ヘルスマイトなどの地域で活動している様々な機関と協働することで充実した内容となりました。

また、口コミの効果で、新規の参加者や数年振りの参加者も増えてきています。

- ・ 「わたしの人生計画」の中で、認知症予防の講座を実施しました。
 - ・ 地域活動交流と協働で、極みの会（男性グループ）と共催の「Go! Go! お花見 Walking!!」を開催した。今年度は企画の段階から極みの会と話し合いを重ね、ウォーキングのコースや調理のメニューについてなど一緒に考えた内容で実施しました。
 - ・ 介護予防に関する地域の担い手の発掘と育成・地域で活動する介護予防に資する活動の継続への支援として、ボランティア講座を開催しました。
 - ・ 自治会毎の老人会や地域の会へ出向き、運動・栄養・口腔ケア・認知症予防等、様々な内容で介護予防を普及啓発する講座を行いました。
 - ・ 広報誌を活用して、地域包括支援センターで実施する介護予防事業の周知を行いました。
 - ・ 永野地区、ひざり地区の保健活動推進員の定例会へ出席し、研修やイベントの支援の他、地域活動及び健康に関する講座や情報の提供を実施しました。
- また、保健活動推進員が開催するイベントの支援開催支援を行いました。

5 施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

- ・ 地域ケアプラザ指定管理者の責務として、快適かつ安全に利用頂ける様配慮し、施設及び設備についても日常の管理・点検を行います。

(2) 効率的な運営への取組について

- ・ 電気・ガス・水道等無駄のない運営を心掛け、冷房・暖房の温度設定基準を設け、施設運営を心掛けます。
- ・ 貸館空き状況リストを定期的に更新し活用を促します。

(3) 苦情受付体制について

- ・ 苦情に対して迅速・誠実な対応を行うよう苦情受付→苦情対応相談員→苦情対応担当者→苦情解決責任者を設けています。
- 苦情となる前段階に誤解・行違いの改善を図り、相談窓口としての役割を担います。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・ 地域の方々と一体となり防犯・防災の体制を持つ関係作りを行います。
- ・ 防犯として：ひざり地区の夜間パトロール（地元町内会、歩こうクラブ、シルバークラブ、地区社会福祉協議会等）の出発・集合拠点としてケアプラザを利用して頂き、防犯体制が日常的に行えるよう協力を頂いています。
- ・ 防災に関して：地域拠点避難訓練に特別避難場所として参加し自衛消防隊での訓練を行います。

(5) 事故防止への取組について

- ・ 予測可能な事故については未然防止策を講じ回避する様にします。また、施設利用者へも転倒転落等の事故防止への案内と周知を継続します。
- ・ 調理室の刃物は事務所で管理し、貸館利用団体が使用する際に安全なケースに入れて貸出します。貸出時、返却時に本数の確認をします。
- ・ 調理室のガスの元栓のスイッチ操作はケアプラザ職員が行います。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

- ・ 平素から厳格に適正な個人情報の管理と取扱を徹底します。具体的に
 - ・ FAX 誤送信防止に電話帳登録と複数名確認
 - ・ 郵送物の誤発送防止に複数名確認
 - ・ パソコンの施錠付管理及び盗難防止ロック
 - ・ 個人情報に関する書類は施錠できる書架に収納し退社
 - ・ USB 等に個人情報データ入力を禁止
 - ・ データベースアクセス時の個別認識パスワード設定
 - ・ 個人情報無断持ち出し禁止
 - ・ プライバシーポリシーの作成と周知徹底
 - ・ 個人情報取扱いマニュアルの徹底

(7) 情報公開への取組について

- ・ 公共性の高い施設として各種法令を遵守し、地域に積極的に情報を公開します。
 - ・ 運営状況等の閲覧
 - ・ 神奈川県介護サービス情報公表センターへの掲載
 - ・ 第三者評価の受審
 - ・ 掲示板や機関誌を用いた運営状況の報告
 - ・ ホームページの活用

(8) 人権啓発への取組について

- ・ 各種外部研修等を通じて人権意識を高い水準で維持すると共に、市区行政の方針が地域住民に広く啓発できる様にします。
特に近隣中学校から人権学習として高齢者問題（認知症）について地域と専門職種が関係を築き地域で見守ることの大切さを伝えるため講義と発表に毎年取り組んでいます。今年度も学校との協働での取り組みを行います。

(9) 環境等への配慮及び取組について

- ・ 事業系ごみと資源ごみの分け方を基本に、ごみの分別を行います。
- ・ 環境へ負荷を減らす取り組みとして、移動時は公共交通機関、自転車を主に使用します。
- ・ 館内の冷暖房温度を、区の推奨温度に設定します。
- ・ 館内の照明は、省エネ型蛍光灯と LED を使用しています。夜間は安全に配慮した

上で廊下等の照明を間引き点灯します。

- ・町内一斉清掃にケアプラザ職員も参加しゴミ拾い、草取り等取り組みを継続します。
- ・印刷物は可能な限り裏紙を使用します。

【介護保険事業】

●指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

保健師・主任ケアマネジャー・社会福祉士 各1名

《目標に対する成果等》

- ・ ケアマネ連絡会にて、介護予防支援従事者研修を実施した。
- ・ 支援計画へ地域のインフォーマルサービスを組み込めるよう、活動情報誌についての説明や地域のサロン情報等をケアマネジャーへ配布し情報提供を行った。
- ・ 対象者の生活や、個々の目的に応じた目標設定を行うため、本人や家族等からの聞き取りを十分に行い、生活状況・心身状態を含め総合的なアセスメントを実施した。
- ・ 委託しているケースについては、ケアマネジャーと密に連携を取ると共に、支援困難ケースについては、必要に応じて高齢障害支援課や関係機関と様々な視点で検討し支援を行った。
- ・ 事業対象者については、定期的な地域での活動として、元気づくりステーションへの参加を促した。
- ・ 担当エリアの事業所のケアマネジャーにも参加してもらい、目的志向型の介護予防ケアマネジメントについて、リハビリ専門職等及び要支援・介護保険利用を終了した当事者を含めた地域ケア会議を実施した。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 通常のサービス地域を越える地域に訪問・出張する必要がある場合には、その交通費（実費）の支払いが必要となります。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

関係機関と密に連携を図りながら、対象者に応じた適切なプランを作成致します。インフォーマルサービスや地域資源を十分活用していけるよう、情報提供及びプランへの位置づけ、活動のきっかけづくりの支援など、積極的な取り組みを行います。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
46	46	47	45	45	47
10月	11月	12月	1月	2月	3月
46	48	48	42	42	42

●居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者 1人
ケアマネジャー 3人

《目標に対する成果等》

- ・介護保険法令及び関係法令の遵守を念頭に公正中立なサービスを提供し、常にご利用者様とご家族の目線に合わせて、適宜にニーズに応じた保健・医療・福祉等の社会資源活用し、マネジメントしました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

通常のサービス地域を越える地域に訪問・出張する必要がある場合には、その交通費（実費）の支払いが必要。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

地域福祉の拠点であるケアプラザの居宅支援事業所として、充実した地域ネットワークの構築にも尽力し、関係行政機関、地域包括支援センターとの連携等積極的に行い居宅サービス計画を作成しました。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
114	116	113	108	106	108
10月	11月	12月	1月	2月	3月
116	115	113	111	114	108

平成29年度「日限山地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(一般会計)地域活動

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	18,463,280	△ 474,000	17,989,280	17,989,280	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	
指定管理料充当 事業	0		0	192,040	△ 192,040	
自主事業収入			0		0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	79,820	△ 79,820	
印刷代	0		0	19,820	△ 19,820	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他 (指定管理料充当)	0		0	60,000	△ 60,000	
その他 (施設使用料相当額 法人負担分)	0		0	0	0	
その他 (提案時控除 法人負担分)	0		0	0	0	
収入合計	18,463,280	△ 474,000	17,989,280	18,261,140	△ 271,860	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,466,000	0	10,466,000	8,808,494	1,657,506	
本俸	6,036,577		6,036,577	6,036,577	0	
社会保険料	726,293		726,293	726,293	0	
手当計	1,880,357		1,880,357	1,880,357	0	
健康診断費	27,688		27,688	27,688	0	
勤労者福祉共済掛金			0	0	0	すべてふれんど
退職給付引当金繰入額	77,579		77,579	77,579	0	
その他	1,717,506		1,717,506	60,000	1,657,506	
事務費	2,364,000	0	2,364,000	1,198,161	1,165,839	
旅費	22,920		22,920	22,920	0	
消耗品費	393,072		393,072	393,072	0	
会議贈い費	7,472		7,472	7,472	0	
印刷製本費	3,524		3,524	3,524	0	
通信費	342,984		342,984	342,984	0	
使用料及び賃借料	0	0	0	15,168	△ 15,168	
横浜市への支払分	0		0	15,168	△ 15,168	
その他	0		0	0	0	
備品購入費			0	191,448	△ 191,448	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険			0	0	0	
職員等研修費			0	0	0	
振込手数料	617		617	617	0	
リース料	120,744		120,744	120,744	0	
手数料			0	0	0	
地域協力費			0	0	0	
その他	1,472,667		1,472,667	100,212	1,372,455	
事業費	922,000	0	922,000	526,053	395,947	
運営協議会経費	42,000		42,000	8,255	33,745	予算・指定額
指定管理料充当 事業	880,000		880,000	517,798	362,202	
管理費	3,874,000	0	3,874,000	3,031,161	842,839	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算・指定額
光熱水費	1,655,485	0	1,655,485	1,655,485	0	
電気料金				1,526,311		
ガス料金				11,401		
水道料金				117,773		
清掃費	198,974		198,974	198,974	0	
修繕費	474,000	0	474,000	0	474,000	予算・指定額
機械整備費	71,875		71,875	71,875	0	
設備保全費	1,004,388	0	1,004,388	1,004,388	0	
空調衛生設備保守	431,549		431,549	431,549	0	
消防設備保守	84,467		84,467	84,467	0	
電気設備保守			0	0	0	
害虫駆除清掃保守			0	0	0	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	488,372		488,372	488,372	0	
共益費			0	0	0	
その他	469,278		469,278	100,439	368,839	
公租公課	837,280	0	837,280	704,679	132,601	
事業所税			0		0	この列は入力しない
消費税	837,280		837,280	704,679	132,601	
印紙税			0		0	この列は入力しない
その他 ()			0		0	この列は入力しない
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0		0	この列は入力しない
当該施設分			0		0	この列は入力しない
二一ス対応費			0		0	この列は入力しない
支出合計	18,463,280	0	18,463,280	14,268,548	4,194,732	
差引	0	△ 474,000	△ 474,000	3,992,592	△ 4,466,592	

自主事業費収入	880,000		880,000	0	880,000	予算・指定管理料に含む
自主事業費支出	880,000		880,000	517,798	362,202	
自主事業収支	0	0	0	△ 517,798	517,798	⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費
管理許可・目的外使用許可収入	0		0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	15,168	△ 15,168	使用料(横浜市への支払分等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	△ 15,168	15,168	

平成29年度「日限山地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(特別会計)〈包括・介護予防・生活支援体制整備〉

収入の部 (税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	23,308,000	△ 588,000	22,720,000	22,720,000	0	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000	260,903	6,049,903	6,049,903	0	横浜市より
利用料金収入						この列は入力しない
指定管理料充当事業(包括)	0		0	21,360	△ 21,360	
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0	0	0	
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0	0	0	
自主事業収入			0		0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	115,000	△ 115,000	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理充当分)	0		0	115,000	△ 115,000	
その他(提案時控除 法人負担分)	0		0	0	0	
収入合計	29,248,000	△ 327,097	28,920,903	29,057,263	△ 136,360	

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	25,917,000	0	25,917,000	27,785,414	△ 1,868,414	
本俸	13,510,275		13,510,275	16,597,975	△ 3,087,700	
社会保険料	2,712,887		2,712,887	3,513,833	△ 800,946	
手当計	5,014,460		5,014,460	7,054,740	△ 2,040,280	
健康診断費	33,690		33,690	33,690	0	
勤労者福祉共済掛金			0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	358,346		358,346	470,176	△ 111,830	
その他	4,287,342		4,287,342	115,000	4,172,342	
事務費	1,031,000	0	1,031,000	1,282,901	△ 251,901	
旅費	60,000		60,000	43,930	16,070	
消耗品費	400,000		400,000	170,722	229,278	
会議購い費	0		0	0	0	
印刷製本費	48,500		48,500	18,400	30,100	
通信費	400,000		400,000	309,971	90,029	
使用料及び賃借料	0	0	0	4,032	△ 4,032	
横浜市への支払分			0	4,032	△ 4,032	
その他			0	0	0	
備品購入費	0		0	0	0	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	11,500		11,500	0	11,500	
職員等研修費	2,000		2,000	2,280	△ 280	
振込手数料	10,000		10,000	5,334	4,666	
リース料	89,000		89,000	0	89,000	
手数料	10,000		10,000	0	10,000	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	0		0	728,232	△ 728,232	
事業費	1,270,000	0	1,270,000	360,014	909,986	
協力医	630,000		630,000	168,000	462,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	180,000		180,000	36,867	143,133	
指定管理料充当自主事業(介護予防)	151,000		151,000	151,000	0	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000	4,147	304,853	予算:指定額
管理費	1,030,000	0	1,030,000	799,432	230,568	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算:指定額
光熱水費	440,065	0	440,065	440,065	0	
電気料金				405,728		
ガス料金				3,031		
水道料金				31,306		
清掃費	52,891		52,891	52,891	0	
修繕費	126,000		126,000	0	126,000	予算:指定額
機械警備費	19,105		19,105	19,105	0	
設備保全費	391,939	0	391,939	266,988	124,951	
空調衛生設備保守	114,715		114,715	114,715	0	
消防設備保守	22,453		22,453	22,453	0	
電気設備保守			0	0	0	
害虫駆除清掃保守			0	0	0	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	254,771		254,771	129,820	124,951	
共益費			0	0	0	
その他			0	20,383	△ 20,383	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他()			0	0	0	この列は入力しない
事務経費 (計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一ス対応費			0	0	0	
支出合計	29,248,000	0	29,248,000	30,227,761	△ 979,761	
差引	0	△ 327,097	△ 327,097	△ 1,170,498	843,401	

自主事業費収入	640,000			21,360		予算:指定管理料に含む
自主事業費支出	640,000			192,014		
自主事業収支	0			△ 170,654		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0			0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出	0			4,032		使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0			△ 4,032		

平成 29年度 地域ケアプラザ収支報告書<介護保険事業分>

施設名: 日限山地域ケアプラザ

平成29年4月1日～平成30年3月31日

(単位: 千円)

	科目	介護予防支援	居宅介護支援	通所介護	予防通所介護・ 第1号通所介護
収入	介護保険収入		23203		
	その他	0	3709	0	0
	介護予防ケアマネジメント 費				
	事業・負担金収入				
	要介護認定調査委託料収入		408		
	委託事業収入		1509		
	その他の事業収入		87		
	雑収入		17		
	サービス区分間繰入金収入		1625		
	その他		63		
	収入合計(A)	0	26912	0	0
支出	人件費		25797		
	事務費		1081		
	事業費		63		
	管理費		110		
	その他	0	-532	0	0
	利用者負担軽減額				
	消費税				
	介護予防プラン委託料				
	ファイナンスリース債務返 済支出		994		
	サービス区分間繰入金支 出		-1526		
	その他		0		
支出合計(B)	0	26519	0	0	
収支 (A) - (B)	0	393	0	0	

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名

日限山地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者 ②参加人数 ③一人当たり参加費	総経費	自主事業決算額						
			収入			支出			
			指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
認知症・家族のつどい	認知症の家族	3569	地活	3,569	なし	なし	なし	3,569	なし
	81名		包括						
	無料		生活						
サロン出前講座	高齢者	0	地活	0	なし	なし	なし	なし	なし
	466名		包括						
	無料		生活						
ケアプラザtheフェスタin日限山	地域住民	128,596	地活	97,696	30,900	なし	3,341	125,255	なし
	807名		包括						
	無料		生活						
赤ちゃん教室	0歳児と保護者	0	地活	0	なし	なし	なし	なし	なし
	188名		包括						
	無料		生活						
子育てひろば	未就園児と保護者	0	地活	0	なし	なし	なし	なし	なし
	1578名		包括						
	無料		生活						
廊下ギャラリー	地域住民	0	地活	0	なし	なし	なし	なし	なし
	20組		包括						
	無料		生活						
カフェドリーム	高齢者	0	地活	0	なし	なし	なし	なし	なし
	295名		包括						
	100円(主催地区社協への支払い)		生活						
ドルフィン	中学校区個別支援学級児童生徒	71,334	地活	62,534	8,800	なし	7,795	63,539	なし
	149名		包括						
	100円		生活						
宿題ルーム	小学生中学生	0	地活	0	なし	なし	なし	なし	なし
	153名		包括						
	無料		生活						
極みヨガ	高齢者(男性)	55,207	地活	13,807	41,400	なし	50,115	5,092	なし
	86名		包括						
	2,300円		生活						
ぐんぐんひろば	未就園児と保護者	0	地活	0	なし	なし	なし	なし	なし
	270名		包括						
	無料		生活						
セカンドライフ大学校	70歳までの男性	0	地活	0	なし	なし	なし	なし	なし
	20名		包括						
	4,800円(主催地区社協への支払い)		生活						
わたしの「人生」計画	地域住民	10,000	地活	10,000	なし	なし	10,000	なし	なし
	319名		包括						
	無料		生活						
あい基で将!	地域住民	0	地活	0	なし	なし	なし	なし	なし
	473名		包括						
	無料		生活						
ふらり~カフェ	地域住民	54,248	地活	24,410	23,800	なし	なし	54,248	なし
	306名		包括						
	大人のみ100円		生活						
認知症予防講座	地域住民	0	地活	0	なし	なし	なし	なし	なし
	67名		包括						
	無料		生活						
若年性認知症港南区の集い みなとみな	当事者・家族	2,500	地活	2,500	なし	なし	なし	なし	2,500
	89名		包括						
	無料		生活						
PapaCoスクール	未就園児と保護者	0	地活	0	なし	なし	なし	なし	なし
	23名		包括						
	無料		生活						
夏休み工作	小学生	13,372	地活	6,972	6,400	0	6,682	6,690	0
	22名		包括						
	500円~800円		生活						
クリスマス会	子ども	0	地活	0	なし	なし	なし	なし	なし
	70名		包括						
	無料		生活						
よこはまシニアボランティア アポイント登録研修会	65歳以上横浜市民	0	地活	0	なし	なし	なし	なし	なし
	13名		包括						
	無料		生活						
餅つき大会	地域住民	0	地活	0	なし	なし	なし	なし	なし
	250名		包括						
	無料		生活						
貸館利用団体交流会	ケアプラザ貸館登録団体	18,497	地活	18,497	0	0	0	18,497	0
	48名		包括						
	無料		生活						
女性のよるヨガ	成人女性	79,372	地活	13,372	66,000	0	72,389	6,983	0
	142名		包括						
	2,300円		生活						
ボランティア養成講座	地域住民	10,000	地活	10,000	0	0	0	10,000	0
	23名		包括						
	無料		生活						
パソコン何でも無料相談	高齢者	0	地活	0	なし	なし	なし	なし	なし
	52名		包括						
	無料		生活						

平成29年度 自主事業報告書

横浜市日限山地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
認知症・家族のつどい	認知症の家族を介護している方の孤立化防止、虐待防止	毎月第1金：全7回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
サロン出前講座	介護予防、認知症予防、地域づくり支援	毎月2回・全26回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアプラザtheフェスタin日限山	地域力による発表・食・体験によるお祭りを開催。地域が一体となる場の提供とケアプラザをより身近に感じてもらおう。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
赤ちゃん教室	初めての赤ちゃん(0歳児)の保護者向け相談交流会等	10回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子育てひろば	未就園児対象。親子の交流サロン	48回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
廊下ギャラリー	地域に開かれた発表の場の提供。ケアプラザのPR	20回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
カフェドリーム	地域の憩いの場	9回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ドルフィン	日限山中学校区の個別支援級に通う子供たちの夏休み余暇支援	8回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
宿題ルーム	児童の放課後の居場所づくり	131回
女性によるヨガ	夜間帯の貸館利用促進。日中不在の女性ターゲットとしたヨガ。	8回
ぐんぐんひろば	地域で学べる場の提供	11回
セカンドライフ 大学校	定年後の男性が地域デビューをするための支援	2回
ふらり～カフェ	認知症高齢者、障がい者、子育て世代の親子など地域の方が誰もが気軽に集えるカフェの開催により多世代交流・地域の顔見知りを作ることを目指す。	12回
認知症予防講座	認知症予防の普及啓発	2回
若年性認知症港 南区の集いみな とみな	若年性認知症の家族と当事者の支援	3回
クリスマス会	地域の子ども達の余暇活動	1回
餅つき大会	日本の伝統行事を体験することで子どもから大人までの繋がりをもつ。	1回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
貸館利用団体交流会	貸館登録団体同士の繋がりができ、お互いの活動に興味関心をもてるように目指す。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
PapaCoスクール	父親同士の仲間作り、育児参加へのきっかけ作り	3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
よこはまシニアボランティアポイント登録研修会	ボランティア活動推進のため	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
わたしの「人生」計画	権利擁護	6回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
認知症理解と援助	認知症理解講座	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
極みヨガ	シニア男性ターゲットとしたヨガ講座。地域の仲間づくり。	6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア養成講座	地域での活動団体へイベント・会員募集のチラシ作りの基礎講座。	1回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
パソコン何でも無料相談	地域のボランティアによるシニア向けパソコン相談室。今までの経験でのノウハウを地域貢献で活かす。	9回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域納涼祭ブース出店	地域住民へ地域行事を通じてケアプラザと福祉の周知啓発。	2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子ハロウィンパン教室	季節のイベントを通じて交流を行い、ケアプラザを身近な施設と感じてもらい、同伴された保護者へ対してもケアプラザの使い方の周知活動を行う。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
登録ボランティア交流会	登録ボランティア同士の繋がりを持ち、お互いの活動に興味関心を持てるように促す。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
Go!Go!お花見walking!!	健康づくり、介護予防のきっかけづくりを行い、身近な場での仲間作り、地域全体での活動の活性化を目指す。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
夏休み工作	小学生対象夏休み余暇活動。	2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あい碁で将!	高齢者や子供の居場所作り・交流の場	23回